

## インドの経済成長においてますます注目が高まる在外インド人の経済力

## シャイニング・インド（マクロ関連）～本国への影響度を増す在外インド人の経済力～

▶ **インドは世界最大の移民送出国**

インドは世界最大の移民送出国で、これまで1,779万人の移民を送り出しました。主な行先はアラブ首長国連邦（UAE）や米国、サウジアラビアなどです。

独立後のインドでは、米英の教育制度に倣った教育が行われ、医学や科学、工学などの分野で高度な技術を持つ人が増え、英語圏であることを背景に欧米に移住するようになりました。なかには、著名企業のCEOとなった人も見られます。その他の分野でも、インド人移民は貴重な労働力であり、各国経済に重要な役割を果たしています。

インド外務省によると、国外にいるインド人は3,210万人おり、米国（446万人）やUAE（343万人）、マレーシア（299万人）などの国で多くなっています。

▶ **在外インド人の仕送りは経済を活性化**

海外で働くインドからの移民の多くは、母国インドに仕送りをしています。2020年の仕送り受取額は2005年の約3.8倍となる832億米ドル（円換算で約8.9兆円\*）に達しており、その額は2020年インド名目GDPの約3.1%に相当します。

このような仕送りはインドに住む家族の生活を支え、豊かにすると見込まれ、今後もインドの個人消費の重要な下支えとなるでしょう。

\* 三菱UFJ銀行の対顧客外国為替相場仲値の2020年年間平均  
1米ドル=106.82円で円換算。

**移民送出国上位5カ国  
（2020年時点）**

	国名	移民数（万人）
1	インド	1,779
2	メキシコ	1,107
3	ロシア	1,065
4	中国	980
5	バングラディシュ	734

**仕送り受取額上位5カ国  
（2020年）**

	国名	受取額（億米ドル）
1	インド	832
2	中国	595
3	メキシコ	429
4	フィリピン	349
5	エジプト	296

▶ **インド経済の成長エンジンとして期待が高まる在外インド人の経済力**

このように、在外インド人の経済力がインド国内に還元されることで、個人消費の下支えとなるほか、外貨獲得源の多様化にも貢献しています。インドの悩みである、慢性的な経常赤字を減らすエンジンの1つと考えても良いでしょう。インド経済は巨大な人口の富裕化による成長が期待されていますが、それは何もインド自らの内需によるものだけでなく、世界中の在外インド人の経済力に拠るところもあります。経済成長の源泉が多いことは、中長期的な観点から、安定的なインドの成長に資するものと思われれます。

## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会